



今城 克啓 議員

持続可能な公共交通システムについて

発着場所や時間を柔軟に設定できる  
区域運行システムの導入は？

答

区域運行の調査研究を行いたいと考えます。

問

地方の高齢化と人口減少が進む中で、地方における持続的な公共交通システムの構築は全国的に課題になっている。

高島市でも高齢化が進行し、バス停まで歩くことが難しくなっている場合も多い。  
また、湖西線を利用した観光を推進するにあたって、高島市は多くの観光素材やイベントが全域に散らばっている。

問

このような課題に対応する公共交通システムを構築するためには、決められた路線を運行するシステムだけではなく、区域内の発着場所や時間を柔軟に設定できる区域運行の交通システムも導入する必要があると考えるが市の見解は。

答

都市建設部長  
路線の利用実態なども踏まえ、区域運行の調査研究を行いたいと考えます。

問

地域住民の方々にも運行の担い手になっていただく交通システムが場所や時間帯によっては有効に働く場合があると考えるが、市の見解は。

答

都市建設部長  
担い手も含めた公共交通システムのあり方について検討を行いたいと考えます。

問

公共交通システムを維持するために、市は今年度に2億5762万円の支出を予算化しており、財政を圧迫する要因の1つになると考えられる。

このため、区域運行や運行の多様な担い手を盛り込んだ持続可能な公共交通システムにかかる計画を策定し、

答

都市建設部長  
国土交通省の補助対象事業に該当させることによって、市が負担している金額や計画策定にかかる調査費を国庫補助金の対象になるようにしていくべきと考えるが、市の見解は。

●「高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進について

その他の質問



市営バス「横谷・木地山線」